

# 瑞穂の里

角田市立北郷小学校  
学校便り  
第13号(文責:校長)  
令和3年1月29日

～ 子供たち一人一人のよさが輝く学校を目指して ～

## 「キタリンピック」で見た「やさしさ」

1月21日(木)、毎年恒例の「キタリンピック」が開催されました。この行事は、縦割り班ごとに競い合いながら全校の親睦を深める目的で実施しているものです。今年度は、それぞれの班ごとに行うことになりました。お楽しみのゲームを企画してくれたのは、5年生と6年生です。プログラムには、「学校探検」「北郷クイズ」とあります。「学校探検」の文字を見て、「どのように探検するのかな?」と思いを巡らせておりました。

キタリンピック当日、開会式を終え、いよいよゲーム開始。「学校探検」が始まりました。ゲームをリードするのは5年生……。リーダー初挑戦になります。このゲームは、進行係が言った言葉の数だけ仲間を作っていきます。例えば、『こくばん』なら4人グループ、『とけい』は3人グループ」というように、使われているひらがなの数と同じ人数のグループを作り、互いに自己紹介をします。部屋にいながらも、学校探検した気分を味わいながら交流できるように工夫されています。

「学校探検に行こうよ!」「学校探検に行こうよ!」、手拍子に合わせて、どの班も元気にこのフレーズを唱えながら仲間作りを楽しんでいました。

音楽室の様子を見に行ったときのことで。人数調整があり、急きょゲームに参加することになりました。4人グループを作ろうと子供たちの輪に入ろうとしたとき、「修学旅行のときはお世話になりました。」と近づいてきてくれた6年生がいます。自主研修を一緒にした班のお友達でした。「あのときは暑かったね〜。」「歩き疲れて、足が棒のようになりました。」会津若松の思い出話に花が咲きました。言葉を交わしたのはほんの一瞬でしたが、なつかしい話題とともに声を掛けてくれた6年生のやさしさが感じられ、気持ちが明るくなりました。

「前とは違う人とグループを作ってね〜。」と声を掛ける上級生、自己紹介をする友達の言葉を静かに聞いている仲間など、ゲームの中にたくさんのやさしさを見つけることができました。困っている人に親切にしてあげるやさしさ、手を貸さずともそっと見守ることもやさしさです。交わす言葉の中から相手の思いやりが感じ取れることもあります。日常の中にある小さなやさしさを大切にす気持ちを忘れてはいけないと子供たちから学んだように思います。

寒さの中で開催された「キタリンピック」ですが、子供たちのやさしさに触れて、温かさを感じるひとときになりました。



【ゲームの説明をしています】



【学校探検の一コマ

～仲間を作って自己紹介～】